

## 現代ロシア語におけるヴォイスについて —受動表現を中心に—

中澤 英彦

### 0. 態 залог ヴォイスと диатеза diáthesis

1. ロシア語における態の表現
2. 態転換における非対称性
3. 具体例およびコメント  
文献

### 0. 態 залог ヴォイスと диатеза diáthesis

動詞によって表わされる過程とその主体(動作主あるいは状態の担い手)および客体(過程が向けられる対象)との相関関係を闡明するためには、動詞のカテゴリーとしての態 залог ヴォイス(以後、態)の研究だけでは不十分<sup>1</sup>で、より広い diáthesis の研究が必要となる。これは、現代ロシア語のみならず、おそらくほとんどの言語において言えることであろう。

本稿では現代ロシア語(以後、ロシア語と略記)における diáthesis 研究の前段階として、対象を動詞のカテゴリーとしての態に限定し、その体系を検討する。

### 1. ロシア語における態の表現<sup>2</sup>

#### 1.1. 態表現の多様さ

態の現象は複雑でまだ多くの未解決の問題を抱えている<sup>3</sup>。ここでは、現段階の態研究をもっとも一般的に反映していると考えられる(Шелякин,194/195)の説を軸に、態の現象を概観する。

ロシア語における「態のカテゴリーとは、二つの対立する文法的な形態とその意味からなり、動作の主体および客体との関係を言葉の中で実現する」(Шелякин,194)ものである。

動詞と客体との関係に焦点が当たることから、動詞の他動性、非他動性が問題となるが、他動性とは、動詞が、動詞によって表現される動作の客体との関係を示す性質で、肯定文においては動作の直接の対象を表す(前置詞なしの)対格目的語をとることと簡単に規定

<sup>1</sup> 現代ロシア語では、統語的アクタントと意味的アクタントの相関関係の表現として語順に頼らざるを得ない場合があることが広く知られている。本稿の1.3.2.1.参照。

<sup>2</sup> 本稿の1.1.から1.3.2.2.までは、文献1.のpp.90-95に大幅に加筆修正したものである。

<sup>3</sup> 態のカテゴリーは形態論に属するか統語論か、あるいは態の種類はいくつか、また態と diáthesis との関係、能動文と受動文の転換 conversion の非対称性や転換に際するアクタント変化の問題など。

しておこう。

ロシア語の動詞には受動態と非受動態とがあり、欠如的二項対立の原理に立脚するならば、受動態以外の動詞は全て非受動態に分類される。したがって態のカテゴリーは全ての動詞語彙に及ぶ。この二項の対立のうち受動態が形態的にも内容的にも特徴表示項となっている。このことは、形態論的に受動態を示す特別な手段は存在するが非受動態には固有の手段がないこと、主格プラス態の形態によって受動態が表現されるという統語論的明確さ、受動態の意味的な狭さによって明らかである(Шелякин,193/194)。

ところで、ロシア語の態表現の特徴は、英語などに比べた場合、受動態の使用頻度の低さと表現法の多様さにある。形態論的には、分詞において能動形、受動形が区別されるだけであり、それ以外は統語的手段、語順などの助けを借りること、さらにロシア語の動詞に特徴的なアスペクト(体)のカテゴリーが、態のカテゴリーと複雑な関係をなしていることによる。

次に具体的な表現手段の分析に移るが、態の対立の特徴表示項は受動態なので、受動態の表現手段を中心に記述する。

## 1.2. ロシア語における態の意味の表現手段

まず受動態の表現手段を表示しよう。

動詞の体	態の表現手段	
完了体	sjā 動詞形	非 sjā 動詞形 = 受動過去分詞
不完了体	sjā 動詞形	非 sjā 動詞形 = 受動現在分詞・受動過去分詞
/その他	統語的手段 語順など	

これを下でより具体的に見る。

### 1.2.1. 完了体 sjā 動詞形

後接辞 sjā の付加による再帰形である<sup>4</sup>。下に見るように、完了体の受動過去分詞形が主として現実に生じた状態の確認を示すのに対して、この形は、自然や人間の状態、特にしばらくの間継続した過程の終了・完結を、いわば動作として示すのに用いられる:

- a. Небольшой пруд у нашего старого дома быстро покрылся  
small pond-m.sg.nom. by our-gen. old-gen house-gen quickly cover-pf.past.m.sg.oneself  
 льдом.  
ice-m.sg.instr.

<sup>4</sup> sjā 動詞は、再帰動詞(受動表現に使われない動詞)と再帰形(受動表現に使われる動詞形)に2分される。再帰形は他動詞から形成される不完了体である。

うちの古家の脇の小さな池はすぐに氷に覆われた。(動作) (Плужникова,214)

b. Небольшой пруд у нашего старого дома покрыт  
small pond-m.sg.nom. by our-gen. old-gen. house-gen. cover-pf.pastp.m.sg.sh.  
льдом.  
ice-m.sg.instr.

うちの古家の脇の小さな池は氷に覆われた(ている)。(状態) (Плужникова,214)

しかし、この sja 動詞形は、осветить, озарить, оросить, окутать, одеть, покрыть, затянуть, заполнить, наполнить, вытеснить, сменить, натянуть, зажечь, просветить, подтвердить, пропить その他特定の動詞若干(Плужникова,213)に限られ、かつ使用は稀である。

## 1.2.2. 完了体非 sja 動詞形

### 1.2.2.1. 受動現在分詞

この形態は、新聞、雑誌に見られることもあるが、文章語の規範に合わないといわれる(АН СССР, 668)。

### 1.2.2.2. 受動過去分詞

もっとも規則的、広範に形成される形態で、不定形、直説法の全時制、(書きことばでは副分詞でも)、仮定法において用いられ、主にペルフェクトの意味とアオリストの意味とを表す:

c. Он избран депутатом. (Шелякин,199)  
he-m.sg.nom. elect-pf.pastp.m.sg.sh. deputy-m.sg.instr.

彼は代議員に選ばれた(いま代議員である)。…ペルフェクトの意味

d. Он был вызван в министерство. (Шелякин,199)  
he-m.sg.nom. be-impf.past.m.sg. call for-pf.pastp.m.sg.sh.into ministry-ac.

彼は(例えば、その時)本省に召喚された。…アオリストの意味

次は不完了体である。

### 1.3.1. sja 動詞形—後接辞 sja の付加による形

この形態の使用には一定の制約がある。すなわち、主語が人間・動物名詞以外の物・こと名詞であること、また受動態と断定するためには動作主を示す具格が必須であるという

制約である<sup>5</sup>。このように一定の制約はあるものの、sja 動詞形による受動態が不完了体の受動態表現では最も規則的、広範に用いられる。下の文 e. と文 \*f. を参照されたい。

e. Дом строится рабочими. (主語が物の場合で動作主の具格存在)  
house-m.sg.nom. build-impf.pres.3.sg.oneself worker-m.pl.instr.  
家は労働者によって建てられている。

f. \*Анна любитя им. (主語が人で動作主の具格存在.不適格な文)  
Anna-nom. love-impf.pres.3.sg.oneself he-instr.  
アンナは彼によって愛されている。  
そもそも現代標準ロシア語には受動の意味の любиться という動詞は存在しない。

### 1.3.2. 非 sja 動詞形

#### 1.3.2.1. 受動現在分詞

文語で用いられる形で、現代語では使用はまれである。例えば、受動現在分詞を用いた下の文 g. は、現代語ではまれであり、文 h. のように語順によって意味的に受動の意味が伝えられる。

このように、動作主と動作の受け手が人間・動物名詞でかつ動作が進行中や反復される場合（不完了体の領域）などは、形態的には能動形の文に置き換えられ、語順によって受動の意味が伝えられるのがふつうである。

g. \*Он любим Анной.  
he-nom. love-impf.pres.p.m.sg.sh. Anna-instr.  
彼はアンナから愛されている。

h. Его любит Анна<sup>6</sup>.  
he-ac. love-pres.pres.3.sg. Anna-nom.  
彼はアンナから愛されている。

h'. У нас его любят. (「誰から」を示すことは不可能)  
around we-gen. he-ac. love-pres.pres.3.pl  
うちでは彼は愛されている。

<sup>5</sup> 文献 1. を参照されたい。

<sup>6</sup> 特に出典がない例文の場合は、規範に適合すると一般に見なされる文例の場合である。

一般にロシア語の受動態ではまず動詞のアスペクトが問題となるが、「彼はアンナから愛されている」というような文の意味は、完了体の受動態が示すペルフェクトの意味、アオリストの意味のいずれでもない。そうするとこの文は、不完了体の対象領域となるが、現代ロシア語における不完了体の受動現在分詞は文体上使用が極めてまれで、sja 動詞によるしか受動態を表す形態的手段がない。しかし、1.3.1.で見たように、人間・動物名詞が主語の場合、sja 動詞による受動態使用には制限がある<sup>5</sup>が、その制限や文体などの研究はまだほとんどされていない。

このような場合、特に話ことばでは、いわゆる不定人称文（上の文 h'）が用いられる。しかし、不定人称文には極めて少数の例外を除くと主語（主格）も動作主を示す具格も用いられない。管見によれば、客体や動作そのものに焦点を当てるために動作主を聞き手の視野の外に出すことに存在意義があるのが不定人称文だからである。

こうして文 h.のように、受動的意味を持ち、現在の状態や過程を行為者と共に表す場合には語順という手段に頼るしか方法がなくなる。

しかし、このような受動的意味をあらわす動詞も以下のように少数である。

любить, ценить, хранить, ненавидеть, уважать, тревожить, критиковать, усваивать, воспринимать, излагать その他若干(Плужникова, 213)

### 1.3.2.2. 受動過去分詞

現代ロシア語では受動表現には用いられず、この形はすでに非生産的である(Шелякин,199: Harrison ,27/30).

このように、受動態の表現において、完了体の場合には、受動過去分詞形を用いた分析的手段が中心で、不完了体の場合には sja 動詞形が中心となっている。他の形態に比べて両者は、より規則的、かつ広範囲に形成される手段であり、受動態の表現においてほぼ相補的な分布をなしている。

では次に、これら形態の機能を非受動態と受動態との対応関係で見よう。

## 2. 態転換における非対称性

一般に、我々の言語には、同一の言語外現実を相対立する視点から言語に取り込む言語形式・手法（転換）conversion, конверсивы, конверсияが存在することが広く知られている。転換の代表的な例が、本稿で対象とする受動態と非受動態である。これから文成分という観点から態転換の文を対照させよう。

以下まずグロスのない例文をあげ次にグロス付き例文をあげる。

受動態

三項文<sup>7</sup>

- i. Дом строится рабочими.  
j. Космос изучается учеными многих стран.  
k. Эта картина нарисована моим другом.  
l. Мной сданы все экзамены.

非受動態（能動態）

人称文

- i'. Рабочие строят дом.  
j'. Ученые многих стран изучают космос.  
k'. Эту картину нарисовал мой друг.  
l'. Я сдал все экзамены.

二項文<sup>7</sup>

m. Этот дом построен в прошлом году.

不定人称文

m'. Этот дом построили в прошлом году.

非人称文

- n. Баржа раздавлена.  
n". Баржу раздавило льдом.

n'. Баржу раздавило.

グロスつき例文

i. Дом строится рабочими.  
house-m.sg.nom. build-impf.pres.3.sg.oneself worker-m.pl.instr.  
家は労働者によって建てられている。

i'. Рабочие строят дом.  
worker-m.pl.nom. build-impf.pres.3.pl. house-m.sg.ac.  
労働者が家を建てている。

j. Космос изучается учеными многих стран.  
cosmos-m.sg.nom. study-impf.pres.3.sg.oneself scientist-m.pl.instr. many country-pl.gen.  
宇宙は多くの国の科学者によって研究されている。

j'. Ученые многих стран изучают космос.  
scientist-m.pl.nom. many country-pl.gen study-impf.pres.3.pl. cosmos-m.sg.ac  
多くの国の科学者が宇宙を研究している。

<sup>7</sup> 受動態の文を文成分の点から分類すると、三項（主語、述語、目的語）からなる文、二項（述語と主語または目的語）からなる文、一項（述語のみ）からなる文になる。このうちもっとも明瞭に受動態の意味が現われるのは、三項からなる受動態の文、つまり、動作主が具格名詞で表現されているものである。

k. Эта картина            нарисована            моим другом.  
this picture-f.sg.nom   draw-pf.pastp.f.sg.sh.   my friend-m.sg.instr.

1.1.1. この絵は私の友人によって画かれた (完成した状態).

k'. Эту картину            нарисовал            мой друг.  
this picture-f.sg.ac.   draw-pf.past.m.sg.   my friend-m.sg.nom.  
この絵を描いたのは私の友人だ.

l. Мной            сданы            все            экзамены.  
I-instr.   pass-pf.pastp.pl.sh.   all   examination-m.pl.nom.  
私によって試験は全部パスされた.

l'. Я            сдал            все            экзамены.  
I-nom.   pass-pf.past.m.sg.   all   examination-m.pl.ac.  
私は試験を全部パスした.

m. Этот дом            построен            в            прошлом году.  
this house-m.sg.nom.   build-pf.pastp.m.sg.sh.   in   last-prep. year-prep..  
この家は去年建てられた.

m'. Этот дом            построили            в            прошлом году.  
this house-m.sg.ac.   build-pf.past.pl.   in   last-prep. year-prep..  
この家は去年建てられた.

n. Баржа            раздавлена.  
barge-f.sg.nom.   crush-pf.pastp.f.sg.sh.  
船は押しつぶされた (潰れた状態である).

n'. Баржу            раздавило.  
barge-f.sg.ac.   crush-pf.past.n.sg.  
船は押しつぶされた.

n". Баржу            раздавило            льдом.  
barge-f.sg.ac.   crush-pf.past.n.sg.   ice-m.sg.instr.  
船は氷に押しつぶされた.

例文で見る限り、人称文だけでなく、不定人称文や非人称文においても、受動態と非受動態の例は対応している。一見すると、受動態、非受動態の表現はすべて対応しているかのような印象を受ける。

ところが、同じ人称文といっても、動作の対象が人間・動物名詞である下の文 o. は、1.3.2.1. で見たように、ロシア語では、完全に同義的な受動態への転換 conversion は不可能であり、例えば、o'. Ребёнка одевает мать. という非受動態（能動態）の文の語順で受動的意味を表さざるを得ない。どうしても形態論的意味と統語的意味にズレが生じてしまうのである。

o. \*Ребёнок одевается матерью. 誤文（受動態）  
 child-m.sg.nom. dress-impf.pres.3.sg.oneself. mother-f.sg.instr.  
 \*子どもは母に着せて貰っている。

o'. Мать одевает ребёнка.（非受動態（能動態））  
 mother-f.sg.nom. dress-impf.pres.3.sg. child-m.sg.ac.  
 母は子どもに着物を着せている。

p. なし（受動態）（p'の受動態なし）

p'. Ребёнок одевается.（非受動態（能動態））  
 child-m.sg.nom. dress-impf.pres.3.sg.oneself.  
 子どもは身支度を整えている。

sja 動詞が関係する場合、非受動態と受動態の表現においては未解決の問題が少なくない<sup>5</sup>（Шелякин, 198）。また厳密に検討するなら、非人称文 n'. Баржу раздавило. の受動転換文が人称文 n. Баржа раздавлена. といえるかも微妙な問題である<sup>8</sup>。文型レベルでは、非受動文には受動態形を生成しないものが少なくないといえる。

このように受動態・非受動態の転換は、必ずしも一対一対応になっていない、言わば非対称的なのである。

ロシア語におけるこのような非対称性は、動詞および主体、客体の語彙的要因（人間・動物名詞か物・こと名詞か否か、受動的意味の sja 動詞が存在するか否かなど）、文法的、

<sup>8</sup> 標準ウクライナ語、ポーランド語には受動人称文と並んで受動非人称文が存在する。ウクライナ語の例を挙げる。

受動人称文	受動非人称文
Крамниця зачинена.	Крамницю зачинено.
shop-f.sg.nom. close-pastp.f.sg.	shop-f.sg.ac. close-pastp.n.sg.
店は閉まっていた。	店は閉まっていた。

統語的要因に起因するものである。

一般に態転換は動詞のアクタント変化と連動することが知られているが、ロシア語におけるアクタントと態転換の対称性、アクタント変化のパターンの詳細はまだ解明されていない(Касевич, 212)。厳密な分析は今後の課題とである。

では、次に3.の具体例でヴォイスの実態を見よう。

### 3. 具体例およびコメント

(1a) 《風などで》ドアが開いた。

Дверь            открылась.  
door-f.sg.nom.   open-pf.past.f.sg.oneself.

ロシア語の場合、通常他動詞、非他動詞の区別は容易であるが、厳密には文脈抜きでは決められない場合もある。

(1b) (彼が) ドアを開けた。

Он            открыл            дверь.  
he-nom.    open-pf.past.m.sg.   door-f.sg.ac

(1c) 入口のドアが開けられた。

Входную            дверь            открыли.  
entrance.adj.f.sg.ac.   door-f.sg.ac.   open-pf.past.pl.

Входная            дверь            открыта            (кем-то).  
entrance-adj.f.sg.nom.   door-f.sg.nom.   open-pf.pastp.sh.f.sg.sh.   someone-sg.instr.

1cの前者は往復運動を表す完了体動詞過去形なので、動作が完了し、その結果が残っていることを含意する。後者はあけられた動作の結果としての状態を表している。

ドアが壊(こわ)れた／ドアが壊された

Дверь            сломалась.            / Дверь            сломали.  
door-f.sg.nom.   break-pf.past.f.sg.oneself. / door-f.sg.ac.   break-pf.past.pl.

文脈がなければ、前者は自動詞であり、作為は感じられないのに対して、後者はいわゆる不定人称文で、顕在化はしていないが特定の範囲内の人物の動作として捉えられる。

(2) 私は(自分の)弟を立たせた。

Я            заставил            брата            встать.  
I-nom.    make-pf.past.m.sg.   brother-m.sg.ac.   stand up-pf.infini.

заставил が他動詞なので, брат は対格である.

(3) 私は (自分の) 弟に歌を歌わせた.

Я            заставил            брата            спеть            песню.  
I-nom.    make-pf.past.m.sg.    brother-m.sg.ac.    sing-pf.infini.    song-f.sg.ac.

ロシア語の場合動詞 заставил と спеть は他動詞であり, 対格を取ることに修正が加わることはない.

(4a) 《遊びたがっている子供に無理やり》母は子供にパンを買いに行かせた.

Мама            заставила            ребёнка            пойти            купить            хлеб.  
mum-f.sg.nom    make-pf.past.f.sg.    child-m.sg.ac.    go-pf.infini.    buy-pf.infini.    bread-m.sg.ac.

(4b) 《遊びに出たがっているのを見て》母は子供を遊びに行かせた.

Мама            позволила (разрешила)            ребёнку            пойти            поиграть.  
mum-f.sg.nom    allow-pf.past.f.sg.            child-m.sg.dat.    go-pf.infini.    play-pf.infini.

(4a)と (4b)の《》内の区別は文脈・動詞の語彙による.

(5a) 私は弟に服を着せた.

Я            одел            брата.  
I-nom.    dress-pf.past.m.sg.    brother-m.sg.ac.

(Я            одел            на брата            одежду.)

(I-nom.    dress-pf.past.m.sg.    on brother-m.sg.ac.    clothing-f.sg.ac.)

通常直接「手を下して着せる」と解釈されるが, 文脈があれば「国民に服を着せる」などと直接手を下さない場合も表す.

(5b) 私は弟にその服を着させた.

Я            одел            брата            в            эту одежду.  
I-nom.    dress-pf.past.m.sg.    brother-m.sg.ac.    into    this-ac.    clothing-f.sg.ac.

(6) 私は弟にその本をあげた.

Я            подарил            брату            эту книгу.  
I-nom.    present-pf.past.m.sg.    brother-m.sg.dat.    this book-f.sg.ac.

授受動詞の間接目的語は基本的に与格支配となる.

(7a) 私は弟に本を読んであげた。

Я прочёл брату книгу.  
I-nom. read-pf.past.m.sg. brother-m.sg.dat. book-f.sg.ac.

Он строился в лесу. 彼は森の中に家を建てた。

このように特定の動詞では、英語の oneself に当たる形が動詞の後接辞と化した sja が「自分のために」という意味を含意することがある。

(7b) 兄は私に本を読んでくれた。

Брат прочитал мне книгу.  
brother-m.sg.nom read-pf.past.m.sg. I-dat. book-f.sg.ac.

(7c) 私は母に髪の毛を切ってもらった。

Мама подстригла мне волосы.  
mum-f.sg.nom cut-pf.past.f.sg. I-dat. hair-m.pl.ac.

(8a) 私は（自分の）体を洗った。

Я помылся.  
I-nom. wash-pf.past.m.sg.oneself.

(8b) 私は手を洗った。

Я вымыл (помыл) руки.  
I-nom. wash-pf.past.m.sg. hand-f.pl.ac.

具体的に「手」を字面で表現する場合には動詞プラス目的語が用いられる。

(8c) 彼は（／その人は）手を洗った

Он вымыл (помыл) руки.  
he-nom. wash-pf.past.m.sg. hand-f.pl.ac.

(8b)と同様である。

(9) 私は（自分のために）その本を買った。

Я купил эту книгу.  
I-nom. buy-pf.past.m.sg. this book-f.sg.ac.

Я купил себе эту книгу.  
I-nom. buy-pf.past.m.sg. myself-dat. this book-f.sg.ac.

どうしても自分のためにという意味を付加したい場合には、2番目の文例のように、再帰代名詞 себе を付加すればよい。

(10) 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。

Они подрались.

They-nom. fight-pf.past.pl.oneself.

подрались は相互動作を表す sja 動詞である。しかし、sja 動詞がすべて相互動作の意味を持つわけではない。この意味の sja 動詞を持たない動詞語彙、例えば любить love 「愛する」などの場合は, друг друга each other 「お互いに」を動詞と共に起させる。

(11) その人たちは《みな一緒に》町へ出発した。

Они все вместе поехали в город.

they-nom. all together go-pf.past.pl. into town-m.sg.ac.

(12) その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。

От этого фильма хочется плакать.

from this movie-m.sg.gen. want-impf.3.sg.oneself. cry-impf.infini.

(13a) 私は卵を割った。

Я разбил (расколол) яйцо.

I-nom. break-pf.past.m.sg. egg-n.sg.ac.

(13b) 《うっかり落として》私はコップを割った（／割ってしまった）。

Я разбил чашку.

I-nom. break-pf.past.m.sg. cup-f.sg.ac.

(14a) きのう私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）眠れなかった。

Вчера я выпил много кофе и не мог

yesterday I-nom. drink-pf.past.m.sg. lots of coffee-m.sg.gen.and not can-impf.past.m.sg.

уснуть.

sleep-impf.infini.

(14b) きのう私は仕事がたくさんあって（たくさんあったので）眠れなかった。

Вчера было много работы, и я не мог

yesterday be-impf.past.n.sg. a lot of work-f.sg.gen. and I-nom. not can-impf.past.m.sg.

уснуть.

sleep-impf.infini.

(15) 私は頭が痛い.

У меня болит голова.

at I-gen. ache-impf.pres.3.sg. head-f.sg.nom.

日本語と構造は同じで、「私のところでは頭が痛んでいる」という構造になっている。

(16) あの女性は髪が長い.

У нее длинные волосы.

at she-gen. long-adj.m.pl.nom. hair-m.pl.nom.

(17a) 彼は(別の)彼の肩を叩いた.

Он ударил его по плечу.

he-nom. hit-pf.past.m.sg. he-ac. on shoulder-n.sg.dat.

(17b) 彼は(別の)彼の手をつかんだ.

Он схватил его за руку.

he-nom. grab-pf.past.m.sg. he-ac. by arm-f.sg.ac.

(18a) 私は彼がやって来るのを見た.

Я видел, как он пришёл (приехал).

I-nom. see-impf.past.m.sg. how he-nom. come-pf.past.m.sg.

ロシア語でも知覚・感覚動詞は特別な文法行動を取る。しかし、ウェブ上で極めてまれに散見されるものの、標準ロシア語には英語のような目的語+不定詞を取る構文はない。

(ちなみに、現代ロシア語にはそもそも原形不定詞は存在しない。)

(18b) 私は彼が今日来ることを知っている.

Я знаю, что он придет сегодня.

I-nom. know-impf.pres.1.sg. that he-nom. come-pf.pres.3.sg. today.

(19) 彼は自分(のほう)が勝つと思った.

Он думал, что победит.

he-nom. think-impf.past.m.sg. that win-pf.pres.3.sg.

(20a) 私は (コップの) 水 (の一部) を飲んだ。

Я выпил воды.

I-nom. drink-pf.past.m.sg. water-f.sg.gen.

現代ロシア語では他動詞の動作が対象の一部分に及ぶ場合に必ず属格をとるわけではなく、飲食、売買、授受などの特定の語彙を持つ完了体動詞かつ目的語が液体など特定の語彙に限られる<sup>9</sup>。

(20b) 私は (コップの) 水を全部飲んだ。

Я выпил всю воду. / стакан воды.

I-nom. drink-pf.past.m.sg. all water-f.sg.ac. / glass-m.sg.ac. water-f.sg.gen

(21) あの人は肉を食べない。

Он не ест мяса. (Он не ест мясо.)

he-nom. not eat-impf.pres.3.sg. meat-n.sg.gen. (he-nom. not eat-impf.pres.3.sg. meat-n.sg.ac.)

( ) 内のように直接目的語を否定属格をとしない場合もある。

(22a) 今日は寒い。

Сегодня холодно.

today cold-praed.

人間の意志で制御できないような心身の状態や自然界の状態は通常非人称文で表現する。

(22b) 私は (何だか) 寒い (私には寒く感じる)。

Мне что-то холодно.

I-dat. something cold-praed.

(23) 私は人がとても多いのに驚いた。

Я удивился тому, что было много людей.

I-nom. surprise-pf.past.m.sg.oneself. that be-impf.past.n.sg. many people-pl.gen.

(24) 雨が降ってきた。

Пошёл дождь.

go-pf.past.m.sg. rain-m.sg.nom.

---

<sup>9</sup> 文献 2. を参照されたい。

(25) その本は良く売れる。

Эта книга хорошо продаётся.

this book-f.sg.nom. well sell-impf.pres.3.sg.oneself.

英語のいわゆる中間構文は通常 sja 動詞が表現する。

#### 注

グロスに用いた略号・記号.

pf.=完了体, impf.=不完了体, infini.=不定詞, pres.=現在形, past.=過去形, presp.=受動分詞現在, pastp.=受動分詞過去, 1, 2, 3=1, 2, 3 人称, sg.=単数, pl.=複数, m.=男性形, n.=中性形, f.=女, nom.=主格, gen.=属格, dat.=与格, ac.=対格, instr.=具格, prep.=前置詞格, sh.=短語尾形, praed.=述語(副詞), 動詞に振られた oneself.=再帰形, adj.=形容詞

#### 文献

1. 中澤英彦. 1991. 「受動的意味の ся 動詞と活動体名詞」『ロシア語研究』4: 90-107.
2. 中澤英彦. 1999. 「ロシア語における活動体・不活動体のカテゴリーをめぐって」『言語研究』9: 1-9, 東京外国語大学.
3. АН СССР. 1980. *Русская грамматика*. М.
4. Касевич, В. Б. 1988. *Семантика. Синтаксис. Морфология*. М.
5. Лопатин, В. В., Милославский, И. Г., Шелякин, М. А. 1989. *Современный русский язык теоретический курс*. М.
6. Плужникова, С. Н., Владимирский, Е. Ю. 1982. *Русский язык: зарубежному преподавателю русского языка*. М.
7. Harrison, W. 1967. *The Expression of the Passive Voice. Studies in the Modern Russian Language*. Cambridge.

#### 謝辞

本稿作成に際して、外務省研修所主任講師ワシーリー・コニャーヒン先生および言語学士エカテリーナ・デミデンコ氏に協力していただきましたことを記して感謝いたします。